

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	システム・マネジメント		
英文授業科目名	System and Operations Management		
開講年度	2005年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	松井 正之		
居室	西5-505		

公開E-Mail	授業関連Webページ
matsui@se.uec.ac.jp	http://www.se.uec.ac.jp/lab/matsui-lab/lab-top.html

【主題および達成目標】
<p>本講義では、製品やサービス(特に、情報)を産出する3M&Iシステムを中心としたシステム・マネジメントについての基礎を講述する。製品やサービスを社会に提供する企業などにとって生産は基本的な機能であり、具体的システムやマネジメントを理解するために極めて重要である。</p> <p>それによって、3M&Iシステムに対する考え方を身に付けた上で、基本的な評価、設計法の理解、マネジメント感覚を養うようにする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
経営システム工学基礎A, B

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
教科書：「サイバermanyファクチャリング - eラーニングで学ぶモノづくり」 トランスアート
参考書：松井・由良共著「基礎経営システム工学」 共立出版
日本経営工学会編「生産管理用語辞典」 日本規格協会

【授業内容とその進め方】

以下の目次に従って進めるが、一部eラーニング実習を予定している。このときは3限だけでなく4限目も利用するので注意して下さい。

I. 序論

1. はじめに
2. 企業運営と問題例

II. システム資源

3. ライン生産
4. 個別生産
5. ソフト生産

III. システム情報

6. MRP/ERP
7. トヨタシステム
8. CIM/SCM

IV. システム管理

9. プロジェクト管理
10. システム効率管理
11. 管理サイクル

V. リスクと環境

12. リスクマネジメント
13. 需給バランス
14. ソリューション

VI. システム定式化技法

15. 工場物理学
16. 利益最大化

* 17. プラント・ビジット
(1回予定)

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

数回のレポートと期末試験の結果に、出席日数を考慮して総合的評価を行う。評価基準は、3M&Iシステムと企業複雑系への理解とする。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが、適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

本講義では、コスト感覚のわかるシステム技術者や経営管理者になるための必須事項について講述するので、出来る限り履修してください。

【その他】